

● 免疫細胞治療とは

免疫細胞療法は1980年代に米国で始まった、がんに対する新しい治療法のひとつです。

「免疫」とは、細菌やウイルス、また体内に発生したがん細胞などから体を守る仕組みのこと。私たちの体に生まれながらに備わっています。

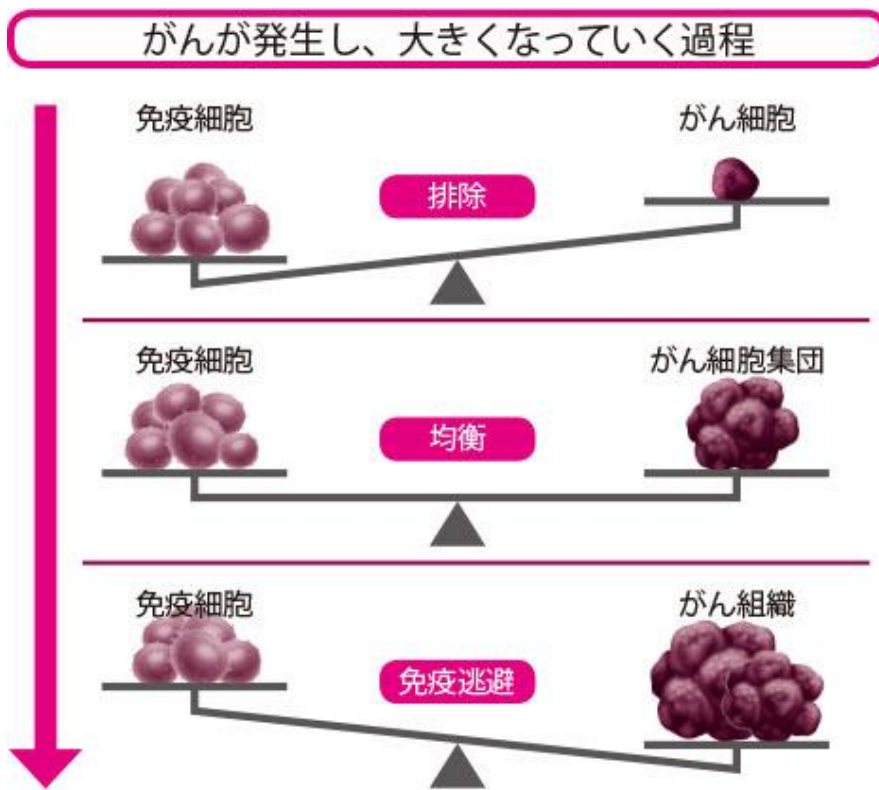
免疫細胞治療とは、この免疫の仕組みを強化、利用してがん抑え込もうとする治療です。最先端の免疫学や分子生物学に基づいた先進的治療であり、いわゆる**三大治療(手術・抗がん剤・放射線療法)**と併用することで**相乗効果**を高めたり、**手術後の再発予防治療**としての効果などが期待されています。

● 自らの免疫でがん細胞を抑え込む

一般的に健康な人でも、一日に数百から数千個もの、がんなどの異常細胞が体内に発生していると考えられています。しかし、がん細胞が発生したからといってすぐに発病に至るわけではありません。その理由は、**発生したがん細胞を攻撃し、抑えこむ“免疫”という仕組みの存在**です。

ところが、体内に生じた異常な細胞が免疫システムの監視を潜りぬけて分裂、増殖してしまう場合があり、これが年数を経てがんとなって発症するのです。

がん細胞の中には免疫力を抑制する力を持っているものもあり、一度発症したがんを本来の免疫の力で抑え込むのは難しくなります。そこで考えられたのが、**免疫の力を人為的に強化することで、がん細胞を抑え込む免疫細胞治療**です。



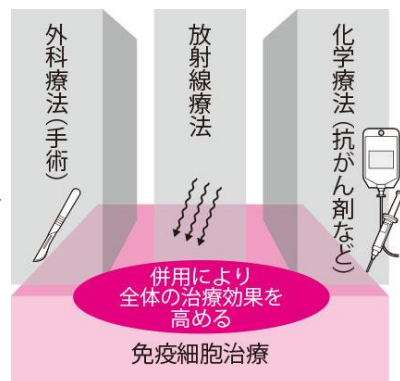
● 免疫細胞治療の特徴

■副作用がほとんどなく、体にやさしい治療です。

免疫細胞治療は、患者さんの体の中にあるご自身の細胞を用いるため、軽度の発熱や、まれにアレルギー反応が見られること以外には、重篤な副作用は確認されておりません。

また、施術は基本的に採血と点滴のみサイクルですので、治療により体力の低下を招くことなく、QOL (quality of life: 生活の質) を維持したまま治療が続けることができます。

これまでの副作用として確認されている症状は37℃程度の微熱、倦怠感、注射部位の搔痒感などが発生する可能性があり、全体の10%程度です。



■抗がん剤や放射線治療との併用で、相乗効果が期待できます。

免疫細胞治療は、他の治療法と併用してお受けいただくことができます。

近年の研究から、免疫細胞治療により体の免疫力を高めることで、抗がん剤や放射線治療の効果をより強め、相乗効果が期待できることが分かっています。

■手術後の再発を抑える治療として、効果が示されています。

手術後に、目に見えない、または検査で検出できない微小ながん細胞が残り、再発につながる場合があります。手術後に免疫細胞治療を行うことでこうした残ったがん細胞をたたき、再発を防ぐ効果が期待できます。

■入院が不要で、がんの種類を選ばず治療が可能です。

基本的に治療は外来通院で行い、入院が不要です。また、一部の血液がん(白血病、T細胞型の悪性リンパ腫等)を除くほぼ全てのがんが適応となります。

※ただし、症状が重篤な場合は、通院による負担が病状の悪化に繋がる恐れがありますので、事前にご相談ください。

■免疫細胞治療は全額自費の治療です。

免疫細胞療法は公的保険が適用されない自由診療ですが、治療費は医療費控除の対象になります。詳しくはお問い合わせください。

● 治療の流れ

基本的な治療の流れ

①②患者さんから採取した血液中から、治療に使う免疫細胞を取り出し、増殖、活性化、機能強化する。③増殖、活性化させた細胞を投与(点滴、注射など)。



当院で提供している免疫細胞治療の流れ

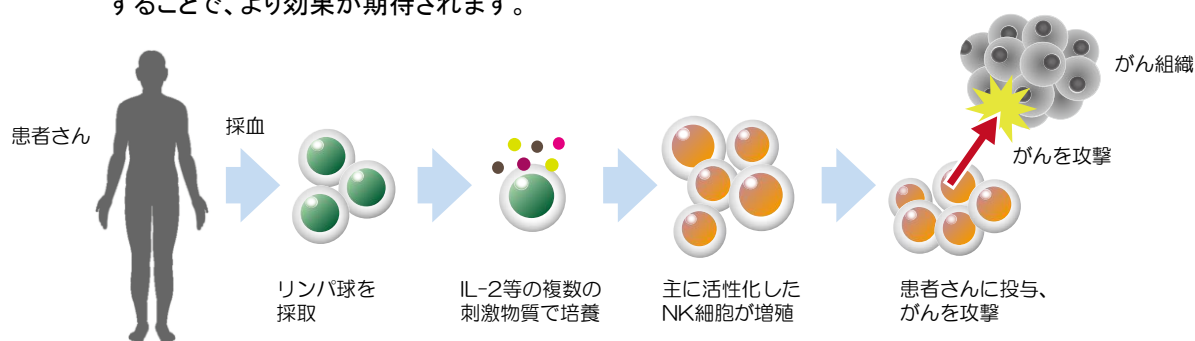
● 当院で実施している免疫細胞治療

- **NK細胞療法**
- **アルファ・ベータT細胞療法**

当院では、用いる技術や特徴の異なる **2種類の免疫細胞療法**を行っています。
個々の患者さんの症状・状態や、現在受けられている治療との併用効果などを考慮して、もっとも効果が期待できる治療法を選択し、ご提案いたします。

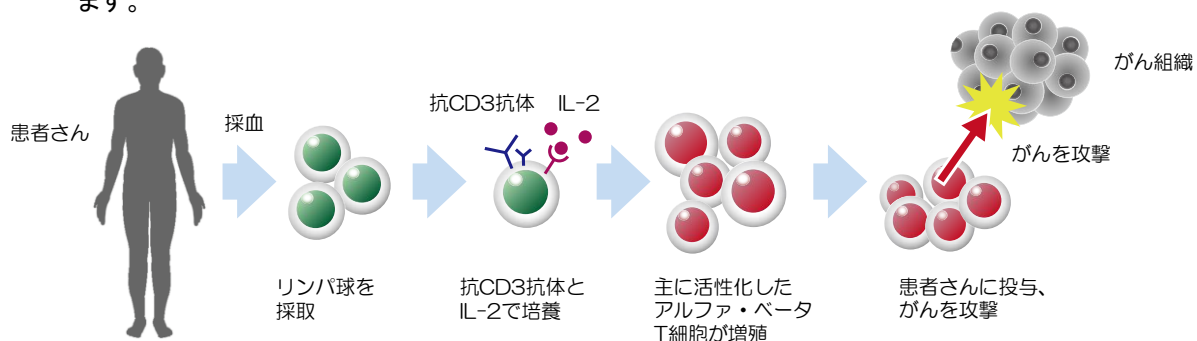
■ NK細胞療法

がんを攻撃するリンパ球のうち、特にNK(ナチュラル・キラー)細胞を増殖・活性化して投与する治療法です。NK細胞は、目印を隠しているがん細胞を見分けて攻撃できるため、樹状細胞ワクチン療法が適用にならない場合の選択肢として期待できます。また、一部の抗体医薬を使っている場合に併用することで、より効果が期待されます。



■ アルファ・ベータT細胞療法(αβT細胞療法)

がん細胞を攻撃するT細胞、NK細胞などのリンパ球全体を大幅に増殖、活性化して投与し、免疫力全体を底上げる治療法です。化学療法や放射線治療との併用で、その効果を増すことも期待できます。



※本治療におけるリスク・副作用について:治療後、ごく稀に「軽い発熱、発疹等、倦怠感」が見られる事がありますが、それ以外、重篤な副作用は見られたことはありません。
身体への負担が最小限の治療と考えています。

● 最新かつ安全性の高い環境での細胞培養

患者さんから採取した血液は、免疫細胞治療専門の培養施設に運ばれ、培養・加工を行います。

当院では、免疫細胞治療の細胞培養・加工で国内有数の実績を持つ株式会社メディネット(施設番号:FA3150001)と契約しており、治療で採血した血液は、同社の細胞加工施設に運ばれ、専門技術者により培養・加工されます。厚生労働省の許可を得た施設では、徹底した品質資材管理のもと患者さんに安心して治療を受けて頂ける体制が構築されています。



● 一部の白血病等を除くすべてのがんが治療の対象になります

現在、比較的早期の方から、再発・転移をともなう方まで様々なステージの患者さんが受診されています。がん種、病期(ステージ)に関わらず広く対象となりますので、まずはご相談ください。ただ、よりすぐれた効果を期待するためには、できるだけ早い時期からの治療をおすすめします。手術後に、再発を予防する目的で受診される方も増えています。

また、治療は基本的に外来通院で行われますが、ご不明点や詳細はお問い合わせください。なお、車椅子の方は事前にご相談ください。

以下の方は治療をお受けいただけません

- ・HIV抗体陽性の方
- ・臓器、同種骨髄移植を受けられた方
- ・過去に免疫チェックポイント阻害剤による免疫関連の有害事象で治療中止となった方

● 治療費のお支払いについて

※免疫細胞治療は健康保険の適用外となりますので、全額自己負担となります。

1. 初診料等

初診料	30,000 円
再診料	5,000 円

2. 治療費

αβT 細胞療法（アルファ・ベータ T 細胞療法）	300,000 円
NK 細胞療法	350,000 円

（いずれも税抜き価格）

● ご注意事項につきまして

- 初めて治療を受けられる方は、1クールとして6回行うことを基本方針としております。
- 治療費は採血ごとに1回分をお支払いいただきます。
- 患者様のご都合により治療をキャンセルされる場合でも、既に細胞加工は開始されておりますので、細胞加工に要した費用はご負担いただきます。
- 上記の他、実施する検査によって検査費用をいただきます。
検査の結果、治療対象外となった場合でも検査費用はいただきます。
- 各種リンパ球療法の治療用に採取した細胞の凍結保存期間は、採血日より6ヶ月としております。
6ヶ月経過後は当院にて処分させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 治療費は予告なく改定させていただく場合がございます。
また、消費税率改正の場合、それに応じて治療費が変更になることをあらかじめご了承ください。